

平成27年度 特別推進研究 審査結果の所見

<p>研 究 課 題 名</p>	<p>太陽系始原物質の3次元構造から探る宇宙・太陽系における固体物質の生成・進化モデル</p>
<p>研 究 代 表 者</p>	<p>土山 明</p>
<p>科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見</p>	<p>太陽系初期の痕跡を残す彗星塵等の宇宙微粒子を模擬した物質の蒸発・凝縮及び粒子線等による「風化」を実験的に再現し、太陽系固体物質の生成・進化を明らかにすることは、惑星科学上大きな意義をもつ。本研究は、応募者等が開発した CT による三次元構造解析を軸に多様な実験・分析を組み合わせてこの課題に取り組むものである。さらに、分析手法を確立し、はやぶさ2等の将来のサンプル帰還ミッションへの準備をすることについては、十分な意義が認められる。以上により、特別推進研究として採択することが適当であると判断した。</p>